



中小企業活力向上プロジェクトアドバンス

無料経営分析・訪問相談のお問い合わせ
TEL: 03-3283-7388

BSC(バランス・スコアカード)で 経営戦略・戦術を考える (1)BSCとは？

中小企業活力向上オンラインセミナー
戦略・経営者分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



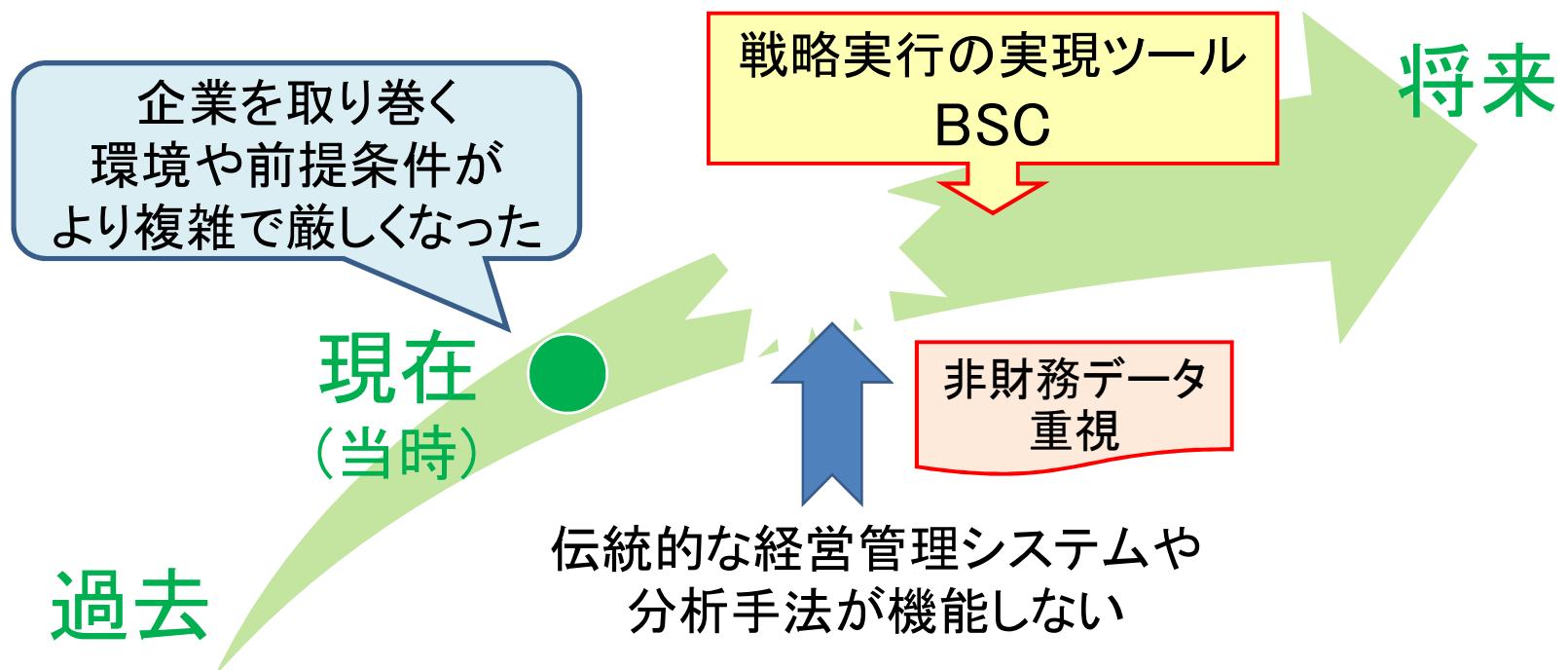
Balanced Scorecard

4つの視点に沿って
戦略の立案から
具体的な行動まで落とし込む
バランスのとれた
フレームワーク



BSC登場の背景

BSCは1992年に ロバート・キャプラン教授とデビッド・ノートン氏によってHarvard Business Review誌で発表された。





BSCの特徴（1～2）

1. ビジョンと戦略の明確化

企業が社会的成功を目指して進む方向は、ビジョン(将来構想)と戦略によって決まる。

BSCはこのビジョンと戦略の立案と検証をサポートし、より明確にする。そして従業員や株主らステークホルダーが企業の進む方向を理解するのを助ける。

2. 戦略的具体的活動への展開

ビジョンや戦略は抽象的なものになりがちだが、BSCはそれを具体的な戦略目標や施策に展開する。

さらに現場のターゲットやアクションプランとして、各従業員が何をすべきかまで落とし込む。これで従業員の行動が、戦略を実現する活動に結び付く。



BSCの特徴（3～4）

3. バランスのとれた業績評価

BSCはその名のとおり、バランスのとれたスコアカード（評価表）。4つの視点でバランスよく戦略を考える。さらに、財務と非財務、内部情報と外部情報、過去と現在と将来、短期的視点と長期的視点、ステークホルダーなど、さまざまな意味でバランスのとれた評価を実現する。

4. 継続的な経営改善

BSCはビジョンと経営戦略を立案し、具体的行動にまで落としこみ、業績評価指標として評価する。その結果、立案した戦略が正しかったかどうか見直され、経営資源の再配分も含めて、経営の改善が継続的に行われる。



4つの視点

1. 財務の視点

財務的に成功するために、株主に対してどのように行動すべきか

2. 顧客の視点

戦略を実現するために、顧客に対してどのように行動すべきか

3. 内部プロセスの視点

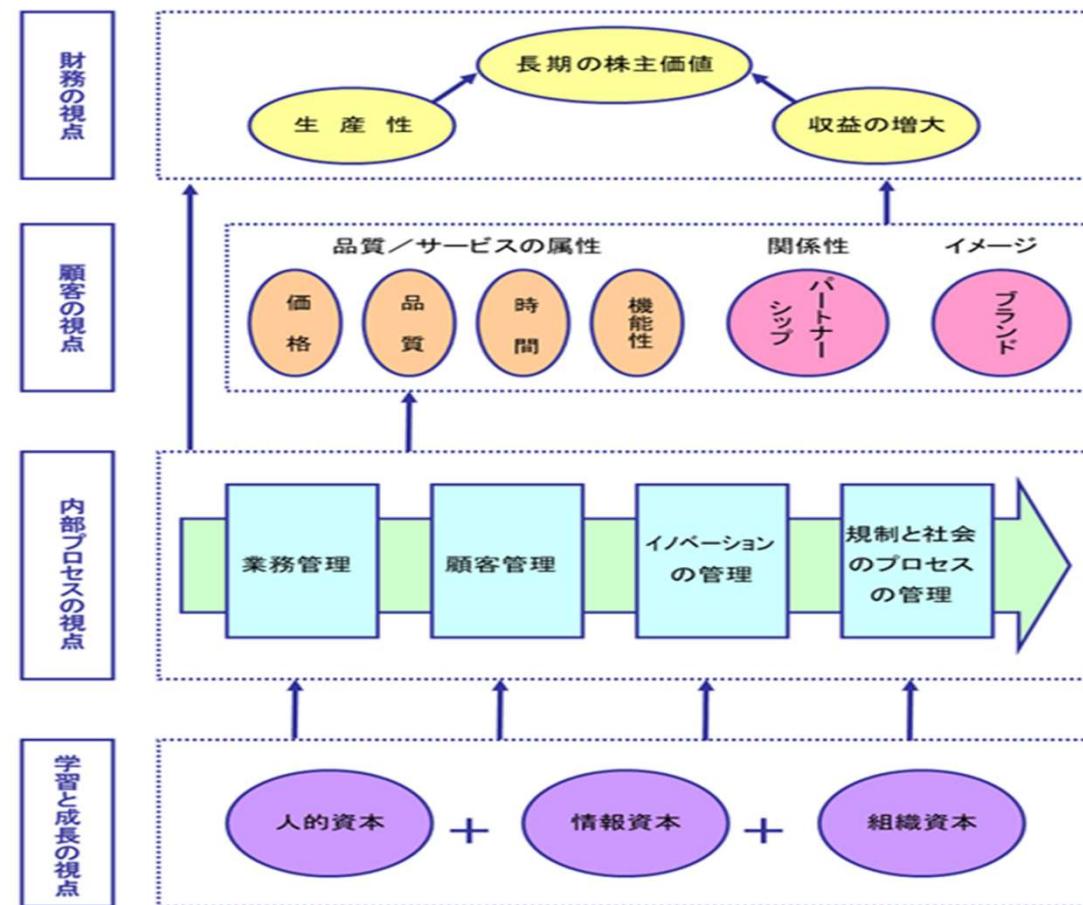
株主と顧客を満足させるために、どのようなビジネスプロセスを創るべきか

4. 学習と成長の視点

戦略実現のために、変化・改善する能力をどのように作り維持すべきか



BSCのフレームワーク (戦略マップのイメージ)



キャプラン & ノートン「戦略マップ」2005 ランダムハウス講談社 より



BSC基本モデルのイメージ図

